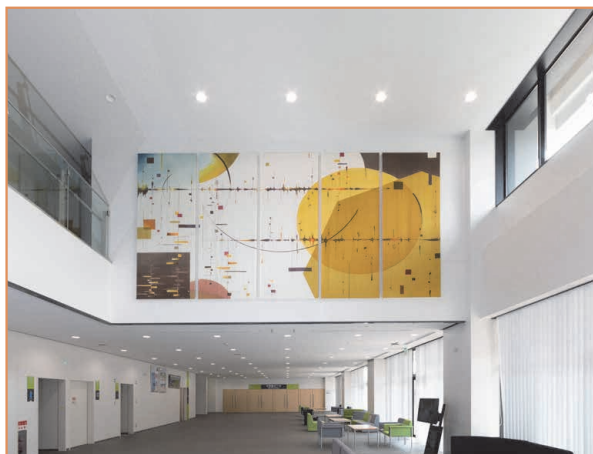


名古屋工業大学
Nagoya Institute of Technology

後援会だより

発行年月日 2022年(令和4年)12月

編集・発行 名古屋工業大学後援会



目次

CONTENTS

・学長あいさつ	1
・後援会会長あいさつ	2
・2022年度後援会役員名簿	2
・2021年度収支決算	3
・2022年度収支予算	4
・後援会による各種支援事業の報告	5
・名古屋工業大学の概要（学生数、入学状況、進路状況）	6・7
・名古屋工業大学における主な取り組み（2021年度）	8・9
・第60回工大祭の報告	10・11
・学生生活課奨学支援係から	12・13
・2022年度就職・キャリア形成事業	14
・後援会会則	15
・学生対策・援助基金[特別会計]の運用方針	16
・医療援助・見舞金支出基準	16
・表紙掲載写真についてのご紹介	17
・名古屋工業大学後援会のご案内	18

学長あいさつ

後援会の皆様へ

名古屋工業大学長

木下 隆利

今年度も後援会の皆様には大変お世話になりました。日ごろの過分なるご配慮・ご尽力に、改めて厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染防止には万難を排しつつ、後期授業から対面式を本格導入致しました。9月のキャンパスミーティングにおける「オンラインのメリットは残してほしい」との学生からの要望も取り入れ、対面とのベストミックスを図りながら質の高い教育を実施して参ります。

国際交流についても在外研究や海外での研究インターンシップなどとして学生・教員の派遣を再開致しました。海外での武者修行で得られる経験・体験はその後の人生において大きな意味を持つので、掛かる経費の適切な支援も視野に入れながら強く背中を押していきたいと思っています。これらの国際交流支援には後援会の皆様をはじめ卒業生等から寄せられた8千万円を超える寄付金（21年度）の一部を活用させていただいています。ご支援くださいました皆様には心から御礼申し上げます。

今年度は4月1日の愛知県立芸術大学（県芸大）との包括的連携協定締結からスタート致しました。両校の学生が共同で作成した壁画や県芸大からの数々の作品が図書館、本部棟、1号館、4号館等に展示されており、学内にアートの風が吹き始めています。本学にお越しの際はご見学下さると幸いです。加えて、室内楽演奏会や音楽学部定期コンサートの会場には名工大向けのシートを設けて頂きました。お陰様で、本学の学生・教職員が素晴らしい演奏に興じています。また、県芸大の先生方による本学での講義実施も検討しています。県芸大・戸山学長によれば、芸術科目の講義が名工大生の右脳の鍛錬に役立てば、とのことでした。

日々の報道では、心を痛める事例が多く、テクノロジーの平和利用はもとより、人間に寄り添い地球環境に配慮するなど、人間としても信頼できる工学の専門家の育成が益々重要になっています。これに応える教育・研究環境を今後も継続的に整備して参ります。

名古屋工業大学の更なる魅力向上のため、後援会の皆様には、引き続きご理解とご支援を心からお願い申し上げます。



後援会長あいさつ

後援会会員の皆様へ

名古屋工業大学後援会長

杉山 康雄



拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は名古屋工業大学後援会の活動につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2021年度後援会定期総会については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い対面での開催を中止とし、前年度決算、本年度予算等議事については役員会の審議結果をもって定期総会の議決として取り扱うことを決定させていただき、既に皆様にご報告申し上げているところですが、ここに改めて決算状況等をご報告申し上げます。

なお、2022年度役員会については、十分な感染対策のもとで3年ぶりの対面での開催が実現できましたことも、あわせてご報告させていただきます。

本後援会は、「名工大の教育に協力し、学生生活向上のために学生を援助すること」を目的に昭和36年に発足し、50年を超える歴史を重ねてまいりました。この間、会員の皆様方から拠出いただきました資金をもとに、学部学生及び院生の課外活動（部活動や工大祭など）や厚生福祉、就職活動への援助、そして学資融資や災害援助時の特別基金の積立など多彩な活動資金として運用させていただきました。それにより、学生たちの勉学や課外活動に多大な成果をあげることができたものと思っております。これもひとえに会員の皆様方のご支援の賜物であり、さらには本学教職員の皆様方による熱心なご指導及び充実した教育研究環境の整備の賜物と、敬意を表する次第です。

今後も学生へのより良い支援をめざし、進んでまいりたいと考えておりますので、ご意見等ございましたらお寄せください。皆様からのなお一層のご協力をお願いいたします。

敬具

2022年度 後援会役員名簿

役名	氏名	所属学科等
会長	杉山 康雄	大学院博士前期課程工学専攻情報工学系プログラム2年
副会長	山川由香梨	情報工学科1年
副会長	小濱かおり	第一部物理工学科4年
常任幹事	鈴木 直哉	社会工学科1年
//	三輪象太郎	大学院博士前期課程工学専攻電気・機械工学系プログラム2年
//	犬塚 信博	副学長
//	遠藤 典子	事務局次長
//	早川 修一	学生生活課長
幹事	角田 隆昭	第一部創造工学教育課程4年
//	鈴木 均	第一部生命・応用化学科4年
//	高須 多美	第一部物理工学科4年
//	稲垣 大爾	第一部生命・応用化学科3年
//	吉澤 寛	第一部生命・応用化学科3年
//	蟹江麻実子	第一部電気・機械工学科3年
//	佐々木敦仁	第一部電気・機械工学科3年
//	掛布 昇英	第一部情報工学科3年
//	鈴木みき子	第一部社会工学科3年
//	高橋 直子	第一部社会工学科3年
//	田中 有紀	第一部創造工学教育課程3年
//	伊藤 美佳	第一部情報工学科2年
//	近藤日出夫	第一部電気・機械工学科2年
//	加藤 理恵	第一部社会工学科2年

役名	氏名	所属学科等
//	石田垂希子	生命・応用化学科1年
//	跡見 美奈	電気・機械工学科1年
//	有賀 正孝	電気・機械工学科1年
//	伊藤 篤之	電気・機械工学科1年
//	渡邊 恭子	大学院博士前期課程工学専攻情報工学系プログラム2年
//	伊藤 明子	大学院博士前期課程工学専攻社会工学系プログラム2年
//	宮腰 祐智	大学院博士前期課程工学専攻創造工学プログラム2年
//	疋田ひとみ	大学院博士前期課程工学専攻創造工学プログラム2年
//	水越 友美	大学院博士前期課程工学専攻生命・応用化学系プログラム1年
//	眞下 由紀	大学院博士前期課程工学専攻物理工学系プログラム1年
//	今井 藤子	大学院博士前期課程工学専攻創造工学プログラム1年
監事	結野 由美	第一部物理工学科4年
//	竹内 辰巳	学務課長
顧問	木下 隆利	学長
//	小畑 誠	理事

（※太字は新役員を示す）

2021年度収支決算

2021年度後援会[一般会計] 収支決算書

●**総括** 収入総額 22,155,369円① 支出総額 13,581,667円② 差引残高 8,573,702円 (①-②)

●**収入の部**

(単位：円)

項 目	2021年度予算	決 算	比較増減	備 考	
前年度繰越金	7,539,213	7,539,213	0		
会 費	大 学 院	2,950,000	2,905,000	▲ 45,000	<2021年度新規加入者> ・大学院 581名 ・第一部 828名(うち編入 13名) ・第二部 15名
	第 一 部	13,125,000	11,501,000	▲ 1,624,000	
	第 二 部	280,000	210,000	▲ 70,000	
	計	16,355,000	14,616,000	▲ 1,739,000	
預 金 利 息	300	156	▲ 144		
収 入 計	23,894,513	① 22,155,369	▲ 1,739,144		

●**支出の部**

運 営 費	会 議 費	0	0	0
	後援会職員給与	1,100,000	1,094,192	▲ 5,808
	運 営 事 務 費	3,500,000	3,534,980	34,980
	計	4,600,000	4,629,172	29,172
学 生 生 活 事 業 費	学 科 交 流 会 費	1,750,000	1,023,056	▲ 726,944
	工大祭援助費	2,200,000	1,351,129	▲ 848,871
	学生生活援助費	30,000	0	▲ 30,000
	課外活動援助費	3,700,000	3,624,660	▲ 75,340
	課外教育援助費	800,000	220,000	▲ 580,000
	就職・キャリア援助費	3,500,000	2,733,650	▲ 766,350
	医療援助・見舞金	100,000	0	▲ 100,000
	計	12,080,000	8,952,495	▲ 3,127,505
支 出 計	16,680,000	13,581,667	▲ 3,098,333	
予 備 費	7,214,513	0	▲ 7,214,513	
合 計	23,894,513	② 13,581,667	▲ 10,312,846	

2021年度学生対策・援助基金[特別会計] 収支決算書

●**総括** 収入総額 9,136,437円
支出総額 536,184円
差引残高 8,600,253円

●**収入の部**

(単位：円)

科 目	金 額
前年度繰越金	8,003,630
貸与者からの返済金	1,132,700
預 金 利 息	107
合 計	9,136,437

●**支出の部**

(単位：円)

科 目	金 額
新 規 融 資 金	535,800
運営費(振込手数料)	384
合 計	536,184

2021年度災害救助対策特別基金[特別会計] 収支決算書

●**総括** 収入総額 10,079,163円
支出総額 0円
差引残高 10,079,163円

●**収入の部**

(単位：円)

科 目	金 額
前年度繰越金	10,079,019
預 金 利 息	144
合 計	10,079,163

●**支出の部**

(単位：円)

科 目	金 額
合 計	0

2022年度収支予算

2022年度後援会[一般会計]収支予算

●収入の部

(単位：円)

項 目	2022年度予算	2021年度決算	比較増減	備 考	
前 年 度 繰 越 金	8,573,702	7,539,213	1,034,489		
会 費	大 学 院	3,000,000	2,905,000	95,000	2022年度新規加入目標数
	高度・創造工学教育課程(第一部)	13,251,000	11,501,000	1,750,000	大学院 600名 高度工学教育課程及び 創造工学教育課程 954名 (編入15名含む)
	基幹工学教育課程(第二部)	294,000	210,000	84,000	基幹工学教育課程 21名
	小 計	16,545,000	14,616,000	1,929,000	
預 金 利 息	160	156	4		
合 計	25,118,862	22,155,369	2,963,493		

●支出の部

運 営 費	会 議 費	50,000	0	50,000	総会、役員会開催に係る経費
	後援会職員給与	1,100,000	1,094,192	5,808	
	運 営 事 務 費	3,400,000	3,534,980	▲ 134,980	書面での総会、 後援会だより作成費用、郵送費等
	計	4,550,000	4,629,172	▲ 79,172	
学 生 生 活 事 業 費	学 科 交 流 会 費	1,752,000	1,023,056	728,944	・ 新入生の交流に係る経費 ・ 2023年度入学者分(2022年度入学生数を基に予算を試算)
	工 大 祭 援 助 費	2,200,000	1,351,129	848,871	・ 工大祭の企画等に係る経費援助 ・ 新型コロナウイルスの影響による感染対策物品購入等に係る費用についても援助
	学 生 生 活 援 助 費	30,000	0	30,000	ボランティア活動に係る経費
	課 外 活 動 援 助 費	3,700,000	3,624,660	75,340	・ 課外活動に係る旅費等の援助 ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための物品購入等に係る費用の援助
	課 外 教 育 援 助 費	800,000	220,000	580,000	学生表彰に係る経費等
	就 職 ・ キ ャ リ ア 援 助 費	3,500,000	2,733,650	766,350	・ TOEIC 受験料援助 ・ TOEIC 受験対策講座 ・ 就職対策講座
	医 療 援 助 ・ 見 舞 金	100,000	0	100,000	
計	12,082,000	8,952,495	3,129,505		
小 計	16,632,000	13,581,667	3,050,333		
予 備 費	8,486,862	0	8,486,862		
合 計	25,118,862	13,581,667	11,537,195		

2022年度学生対策・援助基金[特別会計]予算

●収入の部

(単位：円)

科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	8,600,253
預 金 利 息	100
合 計	8,600,353

2022年度災害救助対策特別基金[特別会計]予算

●収入の部

(単位：円)

科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	10,079,163
預 金 利 息	150
合 計	10,079,313

後援会による各種支援事業の報告

1. 学生表彰支援

名古屋工業大学では、優秀な学生を表彰する「学生表彰」を実施しており、後援会が支援を行っています。後援会が支援を行っているのは、課外活動における成績優秀者及び名古屋工業大学の名声を高めた学生表彰への支援です。

2021年度学生表彰では、学長表彰として、課外活動以外で特に顕著な実績を上げた1名、課外活動の全国大会で入賞した1名と1団体に、また、副学長表彰として、課外活動の地区大会等で優勝または準優勝した7名と4団体にQUOカードを贈りました。



【主な実績】

弓道部：地区推薦大学弓道大会	男子団体	ベスト4
第54回東海学生弓道男子六十射会	個人	第2位
第65回東海学生弓道秋季リーグ戦	男子個人	第1位
馬術部：全日本学生馬術大会2021	MD障害馬術競技 個人	第6位入賞
ボート部：第53回中部学生選手権競漕大会	男子舵手付きフォア	第1位
	女子シングルスカル	第1位
ヨット部：2021年度秋季中部学生ヨット選手権大会	団体総合	第1位
2021年度中部学生ヨット個人選手権大会	470クラス 個人	第2位
卓球部：2021年度東海学生卓球春季リーグ戦	男子・女子第3部 団体	第2位
第52回東海学生卓球各部別大会	男子3・4部シングルス	第1位
アイスホッケー部：第29回中部学生アイスホッケー選手権	団体	第2位
将棋部：第44回朝日アマチュア将棋名人戦東海ブロック	個人	第1位

2. 就職・キャリア形成支援

後援会では本学学生の就職及びキャリア形成支援のため、TOEIC受験料援助を行っており、2021年度は延べ996名の支援を行いました。TOEICは大学院入試の英語試験として使用されており、就職活動でも利用されています。

この他、学生向け、保護者向けに各種セミナーを実施しています。(2021年度は学生向けオンラインセミナーのみ実施)

3. 課外活動支援

後援会では、課外活動への援助を行っています。大会の参加費や交通費の一部援助、学外で練習を行う必要のある課外活動団体への経費の一部援助等です。

4. 医療費援助

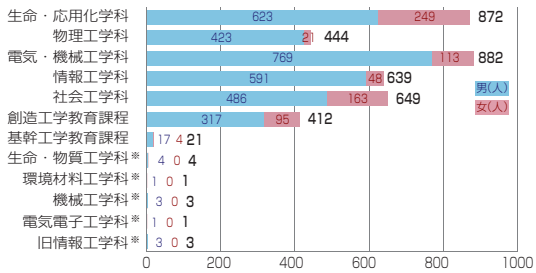
後援会では、正規の授業や課外活動中に傷害を負った学生に対する支援を行っています。

名古屋工業大学の概要（学生数、入学状況、進路状況）

①学生数（2022.5.1 現在）

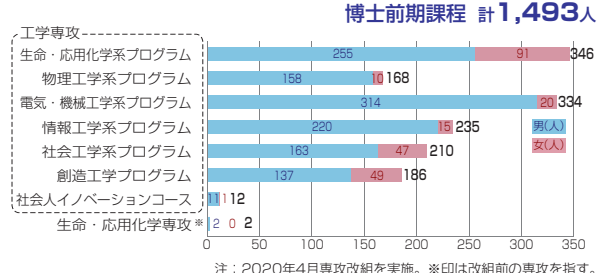
5,711人が在学中 そのうち約17%が女子

◆工学部 計3,931人



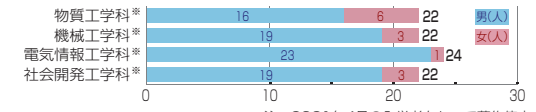
注：2016年4月及び2022年4月学科改組を実施。*印は改組前の学科を指す。

◆大学院工学研究科 計1,690人



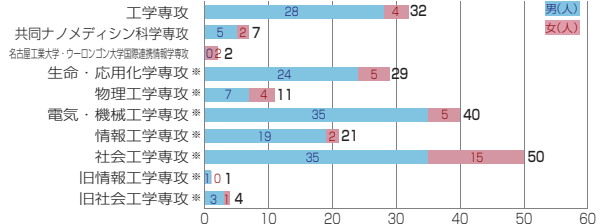
注：2020年4月専攻改組を実施。*印は改組前の専攻を指す。

◆工学部(第二部) 計90人



注：2021年4月の入学者をもって募集停止。

博士後期課程 計197人



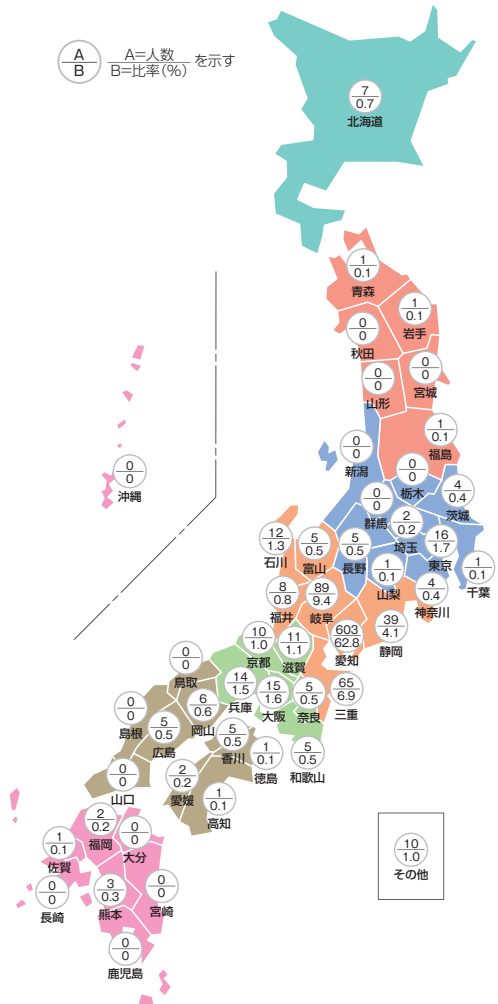
注：2016年4月及び2022年4月専攻改組を実施。*印は改組前の専攻を指す。

②入学状況

2022年度志願者倍率は、高度工学教育課程及び創造工学教育課程の前期日程 2.9倍、後期日程 7.0倍、基幹工学教育課程 3.1倍、大学院博士前期課程 1.4倍、大学院博士後期課程 0.9倍となっています。

2022年度入学者の場合、東海3県の出身割合は、高度工学教育課程及び創造工学教育課程が79.1%、基幹工学教育課程が66.7%です。愛知県出身割合は、高度工学教育課程及び創造工学教育課程が62.8%、基幹工学教育課程が61.9%です。

■入学者出身高校所在地

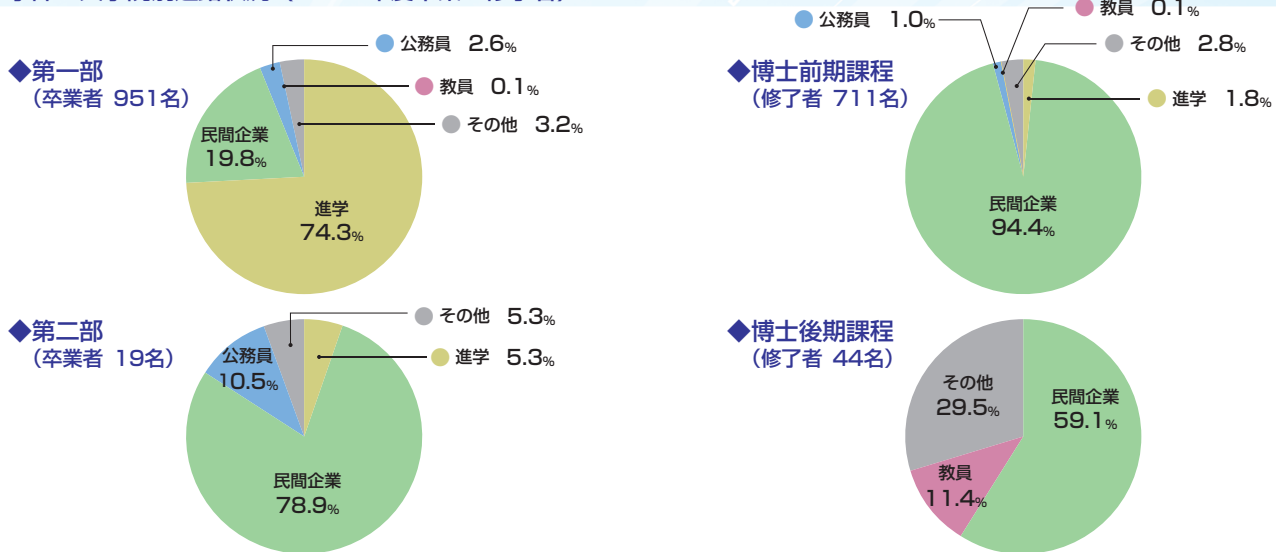


区分	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	
工学部 (高度工学教育課程及び創造工学教育課程)	学校推薦型選抜	126	262 (107)	109 (47)	109 (47)
	総合型選抜	3	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	前期日程	485	1,399 (238)	524 (85)	518 (82)
	後期日程	296	2,081 (294)	364 (40)	301 (28)
	私費外国人留学生特別選抜	若干名	61 (14)	19 (5)	10 (2)
工学部 (基幹工学教育課程)	学校推薦型選抜	16	10 (2)	10 (2)	10 (2)
	総合型選抜	4	8 (1)	5 (1)	5 (1)
	2次募集	若干名	43 (7)	7 (1)	6 (1)
大学院工学研究科 (博士前期課程)	686	943 (148)	774 (125)	742 (122)	
大学院工学研究科 (博士後期課程)	42	38 (7)	38 (7)	37 (7)	
合計	1,658	4,846 (819)	1,851 (314)	1,739 (293)	

注：() は、女子数を内数で示す。

③進路状況（2021年度卒業・修了者に関する進路（進学・就職）状況）

学部卒業者の73.0%が大学院へ
学部・大学院別進路状況（2021年度卒業・修了者）



◆主な就職先

区分	学部				大学院博士課程											
産業界	住友電装	6名	アビームシステムズ	2名	足立ライト工業所	2名	豊田自動織機	17名	NTT 西日本	6名	村田製作所	5名	川崎重工業	4名	ホンザキ	3名
	オービック	4名	システムサーバー	2名	大成建設	2名	デンソー	16名	トヨタ紡織	6名	大成建設	5名	朝日インテック	4名	三井物産ロジスティクス	3名
	NTTデータ東海	3名	スターツCAM	2名	大林組	2名	マキタ	16名	パナソニックエコシステムズ	6名	竹中工務店	5名	東亜合成	4名	大同特殊鋼	3名
	アトソーテクノロジ	3名	デンソーテクノ	2名	大和ハウス工業	2名	アイシン	14名	東海理化電機製作所	6名	日本特殊陶業	5名	東海旅客鉄道	4名	大林組	3名
	イビデン	3名	日研化成テクノロジ	2名	竹中工務店	2名	ブラザー工業	14名	東邦ガス	6名	本田技研工業	5名	NECソリューションイノベータ	3名	中電シーティーアイ	3名
	デンソー	3名	パーソナル R&D	2名	日本電産	2名	日本ガイシ	14名	FUJI	5名	AGC	4名	NSソリューションズ中部	3名	中日本高速道路	3名
	トヨタ自動車	3名	ホーユウ	2名	豊田合成	2名	トヨタ自動車	12名	NTT ドコモ	5名	クボタ	4名	アイカ工業	3名	中部電力	3名
	ヤマザキマザック	3名	メイテツコム	2名	豊田合成	2名	リンナイ	12名	SCSK	5名	ジェイテクト	4名	アクセンチュア	3名	日鉄エンジニアリング	3名
	玉野総合コンサルタント	3名	愛三工業	2名	林テレンプ	2名	アドヴィックス	9名	アビームシステムズ	5名	スズキ	4名	アドマテックス	3名	日鉄ソリューションズ	3名
	三菱電機エンジニアリング	3名	旭化成ホームズ	2名			キオクシア	9名	イビデン	5名	デンソーウェーブ	4名	アビ	3名	日本電気	3名
	日本車輛製造	3名	奥村組	2名			ソフトバンク	9名	オークマ	5名	トヨタシステムズ	4名	ソニーグループソリューションズ	3名	日立製作所	3名
	NSソリューションズ中部	2名	横山システム経営研究所	2名			中部電力パワーグリッド	8名	トヨタ車体	5名	パナソニック	4名				
	アイシン	2名	京セラ	2名			豊田合成	7名	京セラ	5名	メニコン	4名	ダイキン工業	3名		
	アビ	2名	清水建設	2名			LIXIL	6名	住友電装	5名	三菱電機	4名	デンソーテクノ	3名		

区分	学部				大学院博士課程			
非官 公 法 人 庁	名古屋市	9名	犬山市	1名	豊橋市	1名	愛知中部水道企業団	2名
	愛知県	5名	高山市	1名	名古屋港管理組合	1名	国土交通省	2名
	岐阜県	2名	国土交通省中部地方整備局	1名	陸上自衛隊	1名	岐阜県	1名
	愛知県警察	1名	三重県	1名			西尾市	1名
	刈谷市	1名	静岡県	1名				

注：官公庁は、教育機関を除く。

名古屋工業大学における主な取り組み（2021年度）

▶ 教育関係

○ 社会が求め、信頼される技術者・研究者の育成

本学ではこれまで、産学官の有識者で構成する「**産学官教育連携会議**」を通じて広く社会から理工系人材育成に関する意見をお伺いし、教育システムの改善を進めてまいりました。

今後は、基幹工学教育課程、高度工学教育課程、創造工学教育課程の学部教育と、大学院教育の全課程に対し、客観力と文化的視点を涵養する教育や倫理教育を拡充し、「こころ」の眼（幸福感の視点）で工学の進化を客観視できる技術者・研究者を育成してまいります。



▶ 研究関係

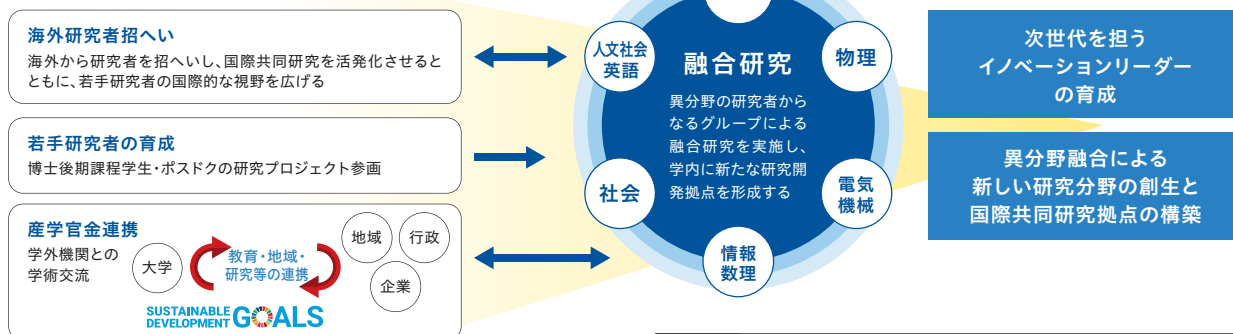
○ 新領域学術院の設置

融合研究、国際共同研究を推進しイノベーションリーダーを育成

近年、日本の大学の国際的競争力や研究力低下が問題として提起されていることを受け、フロンティア研究院を改組し、2022年度から新たに「新領域学術院」を設置しました。この新領域学術院では、博士後期課程学生を現に指導している教員を構成員とし、若手研究者育成と国際共同研究促進及び分野横断型研究推進を大きな柱として事業を進めてまいります。

新領域学術院の主な事業内容	
融合研究	異分野の研究チームによる融合研究を実施し、学内に新たな研究開発拠点を形成する。若手研究者を研究に参加させ、研究者としての成長を促す
海外の研究者招へい	海外から研究者を招へいし、国際共同研究を活性化させることで、若手研究者に国際的な視野を深めてもらう
人材育成	博士後期課程学生への支援を拡充し、内部進学率を上げる。修了後に研究者として活躍できるようキャリアサポートを行う

◇ 新領域学術院



WEB 新領域学術院WEBサイト <http://nfri.web.nitech.ac.jp/>



▶ 社会連携

○ 自動運転の実証実験

本学がデザイン等を担当する自動運転車が走行

愛知県が全国に先駆けて 2016 年度から実施している自動運転の実証実験「Nanamobi (ナナモビ)」が、2021 年 8 月に名古屋市鶴舞周辺で運行開始されました。実証実験に使用された車両はバスタイプの完全電気自動車で、ハンドルもアクセルもブレーキペダルも設置されていません。

「Nanamobi」という愛称は、モビリティが新たな愛知を導くという想いを込めた“New Aichi NAVigate MOBility”と、名古屋のシンボルイメージであるナナちゃん人形、そして名古屋弁で「ですね」を意味する「なも」を掛け合わせ、名づけられました。車体には、名古屋の三英傑（織田信長、豊臣秀吉、徳川家康）をイメージした兜の立物や、名古屋鉄道（名鉄）のパノラマカーやバスを想起させるラインがあしらわれ、地域周辺の住民に親しまれるようにとの想いが込められています。ネーミングやロゴマーク、外装デザインを本学の伊藤孝紀研究室（大学院工学研究科 工学専攻 社会工学領域）が担当しました。

運行開始のセレモニーには、愛知県の大村知事を始め、本学ほか事業実施関係者が出席し、事業実施幹事会社の WILLER 株式会社村瀬社長からプロジェクト説明があった後、試乗（イオンタウン千種→鶴舞駅→イオンタウン千種→名古屋工業大学）が行われました。



左から、木下学長、大村知事、清水名鉄バス社長、村瀬 WILLER 社長、栢イオンタウン事業部長

その他実績、詳細は WEB「名古屋工業大学レポート 2022」をご覧ください。

<https://www.nitech.ac.jp/intro/files/report2022>

▶ ウィズコロナへの取り組み ～名工大の今～

新型コロナウイルスの感染拡大により、染防止対策として、授業をはじめ、課外活動、学内施設利用など学生生活において制限が設けられており、学生の皆さんにとって不便や人との交流・つながりの少なさを感じる日々が続いていました。

これらについて、感染状況や学生の皆さんのご要望を考慮し、適宜制限を緩和し、できる限り通常どおりの学生生活を送れるよう緩和を進めてまいりました。

<大学の対応状況>

以下のとおり、中止や縮小して開催しておりました行事、活動等を再開しました。

- ・ 2022 年 3 月 学位記授与式（対面）
- ・ 2022 年 4 月 入学式（対面）
課外活動新歓イベント・合同新歓イベント
- ・ 2022 年 9 月 キャンパスミーティング（対面）
- ・ 2022 年 10 月 後期授業（原則対面）
- ・ 2022 年 11 月 課外活動ガイドライン緩和（活動内容・時間の拡大）

このほかに、ゆめ空間・ゆめルーム（学習・食事スペース）、図書館（セミナー室、自由閲覧室、メディア室）、NITech Hall（ラーニング・コモンズ）学習スペース、体育館・トレーニングルーム等体育施設といった学内施設の利用を再開、また学生の海外派遣対象も緩和（感染症危険情報レベル 3 又はレベル 2 の国、地域への海外派遣を認める）いたしました。

また、後援会においても、定期総会は昨年度と同様に書面開催となりましたが、3 年ぶりに役員会の対面での開催が実現し、役員の皆様と学長をはじめとする大学役員と直接対話をする機会を持つことができました。

今後も、感染状況等を踏まえつつ、ウィズコロナの時代において学生の皆さんが安心して充実した学生生活を送れるよう対応してまいります。

第 60 回工大祭の報告

例年 11 月に開催しております工大祭は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020 年度はオンライン開催、2021 年度は規模を大幅に縮小しての開催としておりました。

今年度については、工大祭実行委員会と協議を重ね、11 月 19 日（土）及び 20 日（日）に昨年度よりもさらに規模を拡大し、開催することができました。



昨年度は来場者数を一日 400 人に限定、模擬店は中止とし、規模を最小限として開催しましたが、今年度は来場者数を一日 2,000 人、また、昨年度は名工大生及びその家族としていた対象者を学外者にまで広げて開催いたしました。さらに模擬店についてもコロナ禍以前の 1 / 10 の規模ではありましたが 3 年ぶりに実施し、より活気のある工大祭となりました。



後援会からは例年工大祭に対する援助を行っておりますが、昨年度に続き、今年度もそれらに加えて感染対策経費を援助し、実施する学生そして来場者の皆さまにとって安心して楽しんでいただける 2 日間となりました。



第 60 回工大祭実行委員会からの報告

第 60 回工大祭開催にあたり、名古屋工業大学後援会の皆様方には、本年も多大なご支援を賜りましたことをこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今年の工大祭は、新型コロナウイルスの影響により 11 月 19 日（土）・20 日（日）に完全予約制で対面開催されました。1 日 2000 人という来場制限の中、両日ともに予約が埋まり、感染状況が刻々と変化する中でも多くの方々にご来場いただき、無事に開催することができました。

コロナ禍での 3 年目の大学祭開催ということで、今年は“ コロナ禍以前の大学祭に近づけること”と、“制限を新しい価値観を生み出すチャンスと捉えること”の 2 つを目標にしておりました。事前予約が開催に必要となり予約方法を考える中で、予約機能と工大祭に参加する上で便利な、企画情報や地図機能も付いた工大祭アプリを開発し、それを来訪者の方々に使っていただきたいというアイデアが生まれ、今年の工大祭の成功につながりました。

2 日間を通して、会場各所の企画、課外活動団体やゲストのパフォーマンス、そして第 57 回工大祭以来となる模擬店へ、大勢の方に参加していただきました。千人単位の来訪者が工大祭に集う光景を初めて見ることができ、感染症対策に費やしたこの 1 年間で報われた気がしました。また、名工大関係者以外の方にも、第 57 回工大祭以来ようやく参加していただけということで、研究室や学生団体に協力いただき、工大祭を通して名工大の魅力と活気を大いに発信できたかと思えます。

後援会からご支援いただいた援助金は、新型コロナウイルス感染症対策のための資金をはじめ、第 60 回工大祭をより良いものとするために有意義に使わせていただきました。来年以降も感染対策がどうなるか見通せませんが、そのような状況でも行動力のある後輩たちが新たなアイデアや工夫を重ね、革新的な工大祭を創りあげてくれると信じています。今後とも工大祭へのご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

名古屋工業大学第 60 回工大祭実行委員会委員長 佐野 海成



学生生活課奨学支援係から

奨学支援係では、主として各種奨学金・授業料免除に関する業務を行っています。

2020年度からは、学部学生を対象とした「高等教育の修学支援新制度」が実施されています。

本学は本年度も引き続き対象機関として認定されましたので、支援対象要件を満たす場合は、日本学生支援機構の給付型奨学金の支給と授業料の減免措置を受けることができます。

本制度の概要・支援対象要件等については、文部科学省及び日本学生支援機構のWEBページでご確認ください。

高等教育の修学支援新制度等について(学部学生対象)

お金の心配なく学び続けたい学生のみなさんへ

高等教育の修学支援新制度



2020年4月から新制度がスタートしています!

対象 住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生

支援内容

授業料・入学金の
免除/減額

+

給付型奨学金の
支給

返済不要!

申請期間 2022年4月以降(学校ごとに異なります)

○2021年度に申し込みなかった人、または認定を受けられなかった人でも4月以降に申し込みます!

○収入が一定金額以下であれば、住民税非課税世帯でなくても支援の対象となる可能性があります。
(世帯収入に応じた3段階の基準で支援額が決定 ※ 学業成績・学修意欲等に関する要件も満たす必要があります。)

○特に、以下のような人も、支援対象となり得るので、制度について調べてみましょう!

・貸与型奨学金(無利子・有利子)を借りている人 → 新制度なら給付型奨学金を受けられる可能性があります

・今まで奨学金や授業料等の減免を受けていなかった人 → 支援の内容が大幅に充実するので確認してみましょう



「高等教育の修学支援」公式キャラクター
【まねこ先生(左)とまねびーニャ(右)】

くわしい情報ははこちら

文部科学省
特設HP



「学びたい気持ちを応援します」
(制度全体の概要を確認できます。)

高等教育の修学支援
LINE公式アカウント



日本学生支援機構
進学賞金シミュレーター



「給付奨学金シミュレーション」
(自身が対象となるかなどを
大まかに調べられます。)

支援内容や手続きなどの相談窓口

○日本学生支援機構 奨学金相談センター

電話:0570-666-301(月~金, 9:00~20:00)

*土日祝日、年末年始を除く。通話料がかかります。

*給付型奨学金のほか、貸与型奨学金や返還のご相談も可能です。

○各大学・専門学校等の学生課や奨学金窓口

申込手続きのスケジュールや個別の提出書類は、
在学中の学校の学生課や奨学金窓口にご相談してみましょう。

家計が急変した学生等への支援について

(高等教育の修学支援新制度
~授業料等減免・給付型奨学金~)

趣旨

高等教育の修学支援新制度(授業料等減免+給付型奨学金)は、住民税非課税世帯及びこれに準ずる世帯を対象として支援。
住民税は、前年所得をもとに算定されているが、予期できない事由により家計が急変し、急変後の収入状況が住民税に反映される前に緊急に支援の必要がある場合には、急変後の所得の見込により要件を満たすことが確認できれば、支援対象とする。

家計を急変させる予期できない事由 (急変事由)

生計維持者(学生の父母等)の死亡、事故・病气(による就労困難)、
失職(※)、災害等やむを得ない事由
(※) 失業について、定年退職や正当な理由のない自己都合退職等の自発的失業は含まない。

→ この「やむを得ない事由」の中に、
今般の新型コロナウイルス感染症の影響による家計の急変についても対象にするよう運用を拡充



	原則	家計急変の場合の特例
申込	年2回(4月始期分、10月始期分)	随時(急変事由の発生後3か月以内に申し込み)
支援開始時期	4月始期 又は 10月始期	随時(認定後速やか) ※申請日の属する月の分から支給開始できるよう省令変更
対象者	家計、学業その他の要件を満たす者	急変事由が生じた者のうち、家計、学業その他の要件を満たす者
所得基準	住民税非課税世帯・これに準ずる世帯について、下記の算式により判定 市町村住民税所得割 課税標準額×6% - (調整控除の額 + 税額調整額)	左記に準ずる額(年間所得の見込額を基に基準額を算定)
判定対象となる所得	前年所得 ※機構はマイナンバーで住民税情報を捕捉	急変事由が生じた後の所得 ※給与明細や帳簿等で確認 ※ 新型コロナウイルス感染症による影響で 家計が急変した後の1ヶ月程度の所得で判定
支援区分の変更	毎年、夏に最新の住民税情報を確認し、10月分の支援から、支援区分を見直し(年1回)	3カ月毎に、急変事由が生じた後の所得を確認し、都度、支援区分を見直し(一定期間経過後は通常の扱いに戻す)

文部科学省ホームページより引用

- ・新制度の申請は学期毎(毎年4月と10月)に受付を行います。家計急変の場合は随時申請を受付ます。(急変事由発生日から3か月以内の申し込みが必要。)
- ・在学採用と家計急変の違いは、「所得に関する要件」のみです。「在学採用」は、前年の所得情報により算出(マイナンバーにより取得)、「家計急変」は事由発生後の収入から算出した年間所得見込み額により算出。
- ・その他の要件(学業成績及び学修意欲、資産額、大学への入学時期等に関する要件、外国籍の者の在留資格等に関する要件)は、通常の在学採用と同様の基準です。

また、従来からの日本学生支援機構が実施する貸与型奨学金も引き続き利用できます。

原則的に奨学金は「学生本人が希望し、申し込むもの」です。将来卒業・修了後に返還するのは学生自身ですので、本人の意思と認識を今一度ご確認くださいと思います。

なお、家計急変による申請は随時申請を受け付けています。新型コロナウイルス感染症に係る影響により家計が急変した場合も対象になります。給付型奨学金と貸与型奨学金で申請要件が異なります。不明な点があれば、奨学支援係まで、お問い合わせください。申請スケジュールは以下を参照してください。

この他に、様々な財団・自治体等が実施する奨学金もあります。特に、いくつかの財団が実施する奨学金は返還の必要がない給付型奨学金であり、経済的には非常に有利な条件のものがありますが、その分採用数は各財団数名程度に限られています。

その他の業務として、保険関係・アルバイト紹介などを行っています。

本学では、入学から卒業まで安心して学生生活を送ることができるよう「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」及び「学研災付帯賠償責任保険（学研賠）」制度を導入しています。

この保険は、大学の教育・研究活動に沿った補償制度であり、学生は全員加入することになっています。事故発生の際は、速やかに学生センター 6 番窓口へ届け出てください。発生時の連絡が遅れると、保険金を請求できないことがあります。補償の対象になるか迷った際も、まずは 6 番窓口へ相談してください。


申請スケジュール

種類	申請時期	備考
高等教育の修学支援新制度 (給付型奨学金+授業料減免)	年 2 回 (4 月、10 月頃)	家計急変時は随時 申請期限：急変事由発生 から 3 か月以内
貸与型奨学金	年 2 回 (4 月、10 月頃)	家計急変時は随時 申請期限：急変事由発生 から 12 か月以内

学生生活課


名工大公式サイト 「経済的支援」のページが 新しくなりました

公式サイトが更新され、「経済的支援」のページに
・「奨学金・授業料免除申請受付状況」
が追加されました。





このページでは最新の募集情報などを随時提供しますので、奨学金や
授業料免除制度の利用を考えている方は是非活用してください。

○「経済的支援」ページ
<http://www.nitech.ac.jp/campus/support/index.html>



○「奨学金・授業料免除申請受付状況」ページ
<http://www.nitech.ac.jp/campus/support/joukyo.html>





募集情報を随時提供
するので、チェック
してね!!

Copyright 2009-2013 Nagoya Institute of Technology (MMI Agent Model "Wink of SD Mac")

Copyright 2009-2013 Nagoya Institute of Technology (MMI Agent Model "SD Mac")

○ 経済的支援

- 高等教育の修学支援新制度について
- 奨学金
奨学金制度とは経済的困難により修学に困難がある優れた学生に対し、学費の増やを行い卒業までできるよう設けられた制度です。
※ 名古屋工業大学基金 ※ 日本学生支援機構奨学金
※ 他方公共財団・民間財団等の奨学金 ※ 学生対象・奨励基金（名古屋工業大学後援会）
- 入学料免除
入学料の納付が困難であると認められる者は、選考により入学料免除、入学料納付が滞ります。
- 授業料免除
授業料の納付が困難であると認められる者は、選考により授業料が免除されます。
- 奨学金・授業料免除申請受付状況
現在の奨学金・授業料免除の募集・案内状況を随時更新しています。
- 奨学金関係トピックス

就職・キャリア・学生生活

- 名古屋キャンパスニュース
- 就職・キャリア
- 経済的支援
- 学生生活
- 学生のための施設
- 奨励財の授業
- 各種手続き
- 相談窓口
- 両国学生支援
- ハラスメント防止のために
- 卒業生の方へ
就職の準備で
「ワンキャン」活用
- 一般の方へ
就職・進学

2022年度 就職・キャリア形成事業

就職・キャリア支援事業については、工学教育総合センターキャリアサポートオフィスと学生生活課が連携し、学生自身が納得できる進路決定の一助となるよう、就職相談の実施、企業研究セミナー等就職・キャリアに関する各種ガイダンス・セミナーの開催、インターンシップ事業、「求人システム」による求人情報の提供等、就職・キャリア形成事業の充実を図っています。

コロナ下以降、オンラインを活用した就職相談、キャリア形成ガイダンス、業界研究セミナー等を実施しており、就職活動に不安を抱える学生に対し必要な支援が行えるよう努めています。

●オンライン業界研究セミナーの概要

本学学生に対して関連の深い企業を招へいし、本学が実施するキャリア教育の一環として、業界・企業研究の機会を提供することを目的とし、業界研究セミナーを毎年実施しています。

今年度は、オンラインツール（Remo）を利用し、オンライン仮想空間上に企業ブースを設置し、学生が各ブースを訪問し、企業担当者と個別又は複数で情報交換を行います。

- 夏季：2022年9月1日（木）、2日（金） 参加企業 73社
- 冬季：2022年11月30日（水）～12月7日（水） 参加企業 280社

◇オンラインツール（Remo）利用、仮想セミナー会場のイメージ

1～8階までのフロアを自由に移動ができる仮想空間となっており、学生は、1テーブル8名（例：企業担当者1名、学生7名）まで着席可能なブースを訪問し、企業担当者と個別又は複数で情報交換を行う。



【学生生活課 就職・キャリア支援係から】

就職・キャリア支援係は学生生活課に所属し、19号館1階学生センター（10番窓口）にあり、就職・キャリアに関する各種ガイダンス・セミナーの開催や就職相談をはじめとする各種就職支援、インターンシップ事業、進路状況の把握等の業務を行っています。

1. 就職相談

専属の就職相談員を配置し、19号館2階の就職相談室で実施しています。

コロナ下以降、電話、メール、オンラインでの相談にも対応しています。

2. その他の就職支援

自由応募に関する求人情報（求人票・会社説明会案内等）の閲覧、就職に関する図書の閲覧及び貸出（図書館）を行っています。

自由応募に関する求人情報は「大学求人票閲覧システム」により学生ポータルサイトから閲覧可能です。

各種就職支援についての通知は、掲示板やMoodleで行っています。

後援会会則

(平成25年7月31日総会承認)

第1条 本会は、名古屋工業大学後援会と称する。

第2条 本会の事務所は名古屋工業大学（以下「名工大」という。）内に置き、後援会職員が主にその業務を行う。

第3条 本会は名工大の教育に協力し、学生生活向上のために大学と連携して学生を援助することを目的とする。

第4条 本会は名工大の正規の学生の父母等（保護者）をもって会員とする。

第5条 本会に次の役員をおく。

会 長	1名
副 会 長	2名
幹 事	25名
常任幹事	5名
監 事	2名
顧 問	2名

第6条 会長、副会長、幹事及び監事の選出は、常任幹事が原案を作成し役員会の承認を受け、総会で決定する。

2 顧問は名工大学長、理事の中から1名を委嘱する。

3 常任幹事のうち3名は、名工大副学長、事務局次長及び学生生活課長を委嘱する。

4 監事のうち1名は、名工大学務課長を委嘱する。

第7条 会長は、会務を総理し本会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 幹事は、会長の委嘱を受けて会務を行う。

4 常任幹事は、会長の委嘱を受けて会務の連絡と推進にあたる。

5 監事は、会長の委嘱を受けて会計を監査する。

第8条 役員任期は1年とする。但し再任を妨げない。

第9条 定期総会は毎年1回7月末までに会長が招集し、役員承認、事業及び会計報告を行い、その他会の重要事項等を議決する。

2 臨時総会は必要に応じ会長が招集する。

3 役員会は必要あるとき会長がこれを招集し会務を行う。

第10条 本会の経費は会費をもってこれに充てる。会費は学部14,000円（第3年次編入学者は、7,000円）、大学院5,000円とし、入会時に一括してこれを納入する。

2 大学院博士前期課程での会費は、在学期間が連続している場合に限り、博士後期課程ではこれを徴収しない。

第11条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第12条 本会の総会には役員会の承認があれば、学生代表を出席させることができる。

附 則

この会則は、昭和36年6月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成21年5月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成25年8月1日から施行する。

学生対策・援助基金[特別会計]の運用方針

(平成28年8月1日定期総会決定)

名古屋工業大学後援会(以下「本会」という。)の「学生対策・援助基金」の運用については次のとおりとする。

I 目的

「学生対策・援助基金」は、名古屋工業大学の学生で、経済的理由により学費及び留学費用の調達が困難な者に対し、学費及び留学費用相当額を融資することにより修学を援助すること及び災害等緊急時の援助を目的とする。

II 学費及び留学費用の融資

1. 融資額及び融資総額

融資額は、入学料、授業料(年額の2分の1)の額、又は留学費用とする。

留学費用は1名あたり25万円を上限とする。

融資総額は、「学生対策・援助基金」の範囲内とする。

2. 融資の条件

融資期間 融資日から2年以内とする。ただし学籍を離れるまでに全額を返済するものとする。

返済方法 一括返済又は月割返済とし、月割返済は月4,000円以上とする。

利子等 無利息、無担保とする。

原則として、未返済のある者に対しての融資は行わない。

学費の融資を受けた者は、その全額を直ちに名古屋工業大学財務課に入学料又は授業料として納入し納入後はその旨本会の事務担当者に連絡するものとする。留学費用の融資を受ける者は、大学が承認した留学の場合を除き、事前に留学を証明できるもの等を本会の事務担当者に提出するものとする。

3. 融資の申請方法

融資の申請方法は別に定める。

4. 融資の審査基準及び審査

融資の審査基準は、独立行政法人日本学生支援機構の奨学生推薦基準に準じる。その際、次の事項を考慮する。

ア 入学料又は授業料の免除申請者で、その許可が半額免除及び不許可であった者から順次決定する。

イ 本会会員の学生を優先させる。

具体的審査及びこれに関する事務については、名古屋工業大学事務局次長(本会常任幹事)に一任する。

III 特別援助

会長は、災害等が発生し、緊急に救助活動が必要と認めるときは、一時立替え、又は支出することができる。

附 則

本運用方針は、昭和54年5月31日から適用する。

附 則

本運用方針は、平成21年5月1日から適用する。

附 則

本運用方針は、平成22年4月1日から適用する。

附 則

本運用方針は、平成23年4月1日から適用する。

附 則

本運用方針は、平成28年8月1日から適用する。

医療援助・見舞金支出基準

(平成20年7月4日総会承認)

名古屋工業大学後援会の予算項目のうち「医療援助・見舞金」の支出については、この基準を適用する。

なお、医療援助・見舞金については、本会会員の学生のみに適用する。

1. 医療援助

正課教育及び本学公認の正課外活動中に発生した傷病又は原因がこれに起因すると認められるものについては、次の各号による。

一、同一傷病1件の医療費のうち個人負担の合計額が2万円までの場合

全 額

二、前号の額を超える場合超えた額の2分の1を加算する。ただし、最高5万円までとする。

三、医療援助を受けようとする者は、所定の用紙(医療援助申請書)に所要事項を記入のうえ担当教員等の承認印を受け、これに医療機関が発行する医療費の領収書を添付して、後援会あて申請する。

2. 見舞金

事実の認定に基づいて次の各号による。

一、死 亡 香 典 3万円

二、入 院 見舞金 5千円

附 則

この支出基準は、平成9年6月10日から適用する。

附 則(抄)

この支出基準は、平成20年7月4日から適用する。

表紙掲載写真についてのご紹介

名古屋工業大学では、2022年4月からキャンパスへアートによる風を取り入れる「ARTFUL CAMPUS - 御器所が丘にアートの風を - 」をスタートしました。

ARTFUL CAMPUS とは、愛知県立芸術大学の協力のもと、アートを名古屋工業大学キャンパス内に導入することで、工学を俯瞰するための時間と空間を提供するものです。

人に寄り添う「心で工学」の追求を「心を豊かにするキャンパス」として形にし、心の豊かさを実感できる社会の実現に貢献することを目標としています。

今回本誌表紙に掲載した4作品を含むアート作品を紹介します。



大学会館壁面
「砂漠のガーデン」



4号館エントランス
「Sustainability」



4号館吹き抜け
「ある日の思考」



23号館壁面
「砂漠のガーデン」

※表紙掲載の他にも、以下のような作品が制作・展示されています。



図書館エントランス
「MEET A NEW SELF」



1号館1F廊下
「エミュレータのバッグ」



NITech Hall 2F
「笑ってほしい」



東門広場
「uni verse」

名古屋工業大学アートフルキャンパスの詳細は以下のWEBサイトをご覧ください。

<http://artful-campus.web.nitech.ac.jp/index.html>

名古屋工業大学後援会のご案内

1 概要

本後援会は名古屋工業大学の全学科・全専攻にわたる唯一の家族による支援組織であり、在学者の父母等(保護者)を会員としています。当会は1961年(昭和36年)から現在の形になり、名工大の教育に協力し、学生生活向上のために学生を援助することを目的とし、精力的に活動しています。本会の幅広い学生援助事業は、名工大の教育に対して大きく貢献しており、その実績は学内外から高く評価されています。これらの活動に必要な運営資金は、在学者のご家族からの会費(入会時1回のみ)によって賄われています。

2 主な活動内容

- 就職・キャリア形成活動への支援
- 課外活動への支援
- 工大祭等学生行事への支援
- 課外活動での成績優秀者又は大学の名声を高めた学生表彰への支援
- 入学料又は授業料免除不許可者への融資
- 遠隔地での事故救助費の援助
- 正課教育・課外活動中の疾病の医療費補助
- 見舞金の給付
- 会誌「後援会だより」の刊行
- 役員会・定期総会の開催

※会誌や、定期総会等の通知は、学生が入学後登録する父母等氏名や父母等住所を活用します。

3 入会の手続き

これらの活動に必要な運営資金は、在学者の父母等(保護者)からの会費によって賄われています。会費は、入学時一回限りです。未加入の方はいつでも加入を受付けておりますので、是非ご加入いただきますようお願い申し上げます。入会手続きは以下のとおりです。

【手続方法】

入学後に加入される場合は、以下の問い合わせ先にお問い合わせください。

☆**重複入金にご注意ください!**

例年、**入学時の「諸納金」と重複して、4月以降に再度振り込まれる例があります。**

【会費(入会・進学時各1回のみ)】

- ・学部 14,000円(第3年次編入学者 7,000円)
- ・博士前期 5,000円(学部からの進学者も加入が必要)
- ・博士後期 5,000円(博士前期時に加入した方は不要。ただし、在籍期間が連続している場合に限る)

4 お問い合わせ

名古屋工業大学後援会(名古屋工業大学19号館1階 学生センター4番窓口内)にお問い合わせください。

住 所：466-8555 愛知県名古屋市昭和区御器所町
電話番号：052-735-5553 FAX 052-735-5080